

よぞらちゃん

Concept Book

なんでもない日も、ふたりなら。



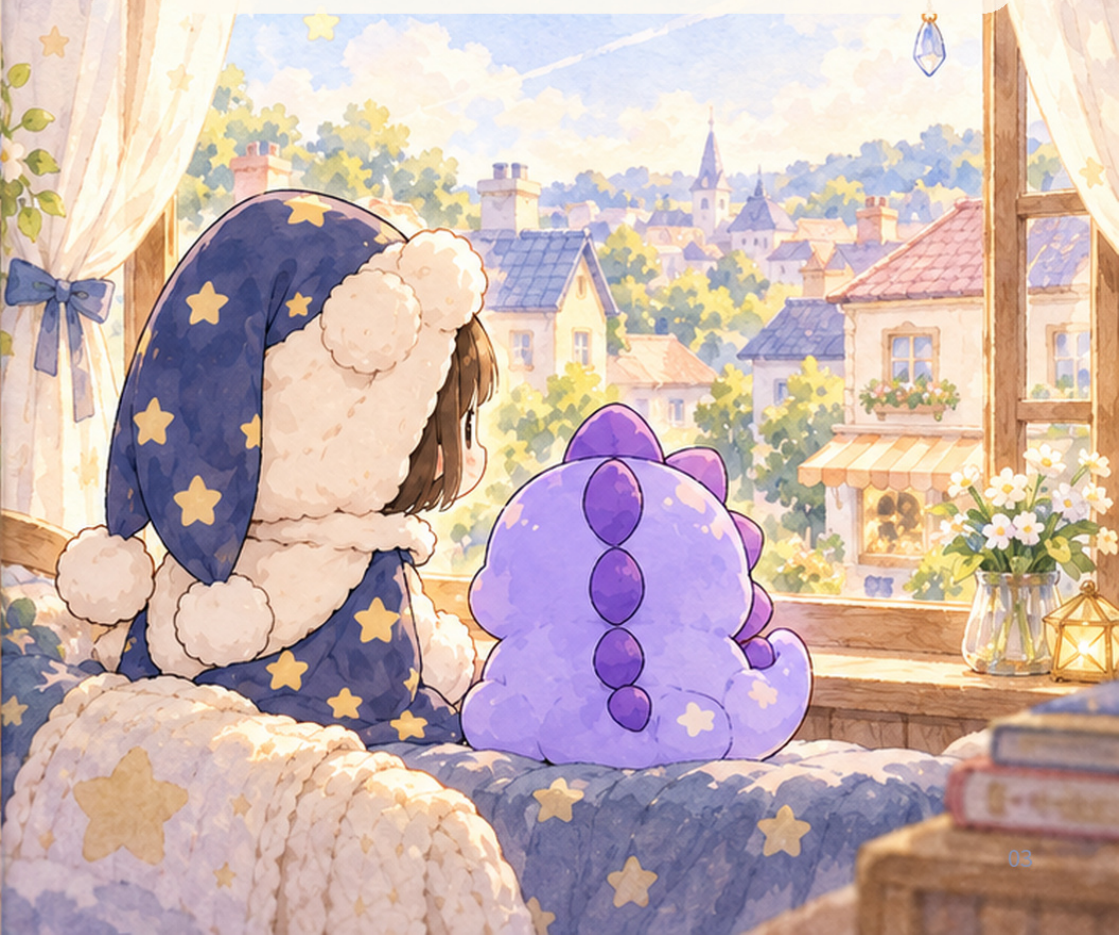
よぞらちゃんの世界へ、
ようこそ。



ここは、いつもの毎日に
ひとさじの不思議がある街。

おいしいパンを食べたり、
夕焼けを眺めたり。
何もしないで過ごす日もあります。

よぞらちゃんとぼるんの毎日を、
少しだけのぞいてみませんか。





こんにちは、 よぞらちゃん。

おいしいものと、おさんぽが好き。
気になるものを見つけると、
ちょっと寄り道します。

やることがいっぱいの日には、
「あとでやる」と
毛布にもぐることも。

でも、小さな「できた！」を
見つけるのは得意です。

ま、いっか。



そして、 ぽるん。

紫色の、ふしぎないきもの。

おやつが好きで、

どこでも眠れます。

おしゃべりは「ぽる」「ぽるん♪」。

何を言っているか、

はっきりとはわかりません。

それでも、よぞらちゃんとは

なんだか通じ合っているみたい。

ぽるん♪



ふたりでいると。

楽しい日も、
ちょっと元気が出ない日も。

ぽるんは、よぞらちゃんの隣に。
よぞらちゃんも、ぽるんの隣に。

何かを解決できなくても、
ふたりでいると、
少しだけ心が軽くなる。

なんでもない日も、ふたりなら。

よぞらちゃんの好きなもの

パン・プリン・夕焼け・毛布・おさんぽ



ぽるんの好きなもの

ドーナツ・クッキー・お団子
そして、よぞらちゃん。



ふたりの朝

朝になった。

起きるのは、

もうちょっとあとでいいかな。



それでも、

カーテンを
開けてみた。

いい天気。

「ひとつ、できた！」



こむぎベーカリー

おさんぽの途中、
焼きたての匂いがしてきました。

「パン、ひとつだけ買っていいかな」



ひとつのはずが

買ったのは、パンとドーナツ。

「……ひとつのはずだったんだけどな」

「ぼるん♪」



いつもの公園

いつもの道で、
ぽるんが立ち止まりました。
「あ、花が咲いてる」



ベンチでひと休み

パンを食べて、ひと休み。

ぽるんは、まると見つめ合い中。

……まるは、見ていないけれど。



川沿いの帰り道

帰り道、よぞらちゃんが
足を止めました。

「わあ。今日の空、きれい」



ふたりは、しばらく
空を見ていました。

帰るのは、
もう少しあとでいいや。





今日、何をしたっけ

カーテンを開けた。

パンを買いに行った。

小さな花を見つけた。

夕焼けも見ただね。

指を折って思い出すと、

ちゃんと、いくつもありました。



小さな「できた！」

今日の中には、
小さな「できた！」が
いくつもありました。

「うん。
今日はこれでよし」

なんにもしたくない日

今日は、なんにもしたくない。

よぞらちゃんは、

毛布にくるまりました。



「今日は、ここにしようか」

「ぼる」

ふたりで、しばらく
ぼんやりしました。

そんな日もある。



ちょっとだけ、不思議

夜になると、
小さな花が光っていました。
「昨日も、光ってたっけ？」



よぞらちゃんも、
空を見上げました。

「……きれいだね」

「ぼる」



季節をいっしょに



春 | 「春のにおいがする」

季節が変わっても、
いつものふたり。



秋 | ひとつ、もうひとつ。

季節をいっしょに



夏 | まだ明るいね。

季節が変わっても、
いつものふたり。



冬 | 毛布の中は、ふたりぶん。

この街の仲間たち



こむぎさん | こむぎベーカリー



すずさん | 季節の花を育てる



ちゅん | パンくずを見逃さない

この街の仲間たち



まる | ぼるんの一方向的ライバル



しおりさん | ぼるんを研究中

いつもの道にも、会いたい顔がある。

おいしいパンを食べた日。

小さな花を見つけた日。

毛布の中で、
何もなかった日。

どの日にも、ぼるんが隣にいました。



できなかったことより、
できたこと。

今日はこれでよし。

なんでもない日も、ふたりなら。



